

元連合副事務局長・怒りの提言！ 連合よ！今こそ真価を発揮せよ！

09 2.4 新聞 新 東 京

読者 交論

元連合副事務局長

戸崎 義弘 72

(東京都多摩市)

「連合」(日本労働組合総連合会)は、世界第三位の規模の労働組合組織であり、国内では史上最大のナショナルセンターである。時あたかも、非正規労働者を中心とした深刻な社会問題が発生し、献身的な市民団体やボランティアの行動が称賛されて

「派遣切り」時代の連合

先達の憂いを真摯に受け止め、
不平等な社会を変えるために闘おう！

経営側にもっとほえろ

「昨日まで一緒に働いて 七十年以上も前に来国 いた当該企業の労働組合 では、労働者をほえろ など直ちにやめさせる は、手を差し伸べないの い犬(抵抗しない犬) ことである。 か「などという厳しい批 判も聞かなくて。 合に入らないことなど 内部留保のはき出しと、 現に、連合の副会長ら は「黄犬契約」と言われ 配当減の実施② これをも ①大企業に働く労働者中 心の運動②労使協路線 にどっぷりつかっている ③不平等・格差の拡大と いう不条理に怒りを感じ ている。など指摘し て、批判した。

この報告と提言を、今 幹部のなから「派遣法 て違法とされた。今日の 改正は慎重に(反対の 日本では、代表的な大企 意)」とか、「正規労働 業で、それと同じことが や生活保障、倒産防止な が、たが、なりの大きな 者以外の問題に対して、 堂々と行われているよう どに活用する③給付金を どのまで踏み込んだ取り である。 同じ基金に拠出し、有効活 用する」などの要求や自 組みをするのか」など、 先に連合は、経営者団 非正規労働者を自由に雇 体とともに、労使共同で らの行動を具体化してほ 用したり解雇したい経営 対政府要請を行ったが、 しいものである。 側が、もう手を挙げて飲 そんなことより前にやる 連合は六年前、自身の ものと確信している。

いる。その一方で、「連 迎するような発言も聞こ 合は何をしているのか」 えている。 運動の再生強化について 各界を代表する有識者に 提言を求めた。その報告 書は連合の運動について